
指導計画案 更新版 (2020.5.22)

株式会社 教育芸術社

【本資料5月22日更新版について】

3月26日、国立教育政策研究所のホームページに、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』が公開されました。その内容を踏まえて、以下、2点を変更のうえ、更新版をアップいたします。

1. 「学習指導要領の内容との関連」について

別資料「年間学習指導計画作成資料」の、「学習指導要領の内容との関連」との関わりが、より明確になるように、各領域・分野の示し方を変更いたしました。当初アップした資料では、軽重を付けずに示していましたが、今回の更新版では、【評価に関わっている】指導事項を太字で示し、それ以外の【学習を進めるうえで関わる】指導事項を細字で示しました。

2. 評価規準について

別資料「年間学習指導計画作成資料」の、「学習指導要領の内容との関連」の見直しに伴い、下記の教材については、新たに評価の観点に加わったため、評価の文章が追加されています。

■ 「打楽器でリズムアンサンブル」、「キリマンジャロ」

※評価の文章を一部変更し、その部分は青字で示しました。

【本資料について】

・本資料は、教育芸術社発行の令和2年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽1～6〈102～602〉」に基づいて作成されています。（用紙サイズは、B4ヨコ向きで、縮小率86%で作成されています。）

【本資料の扱い方について】

- ・扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、巻末教材に配当された時数を活用したり、教材の選択や学習活動に軽重を付けたりするなどの調整を適宜行ってください。
- ・ここに掲載されている評価規準は、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
- ・本資料では、基本、1時間当たり1～2項目に精選して評価規準を示しています。

【2学期制への対応について】

- ・本資料は2学期制、3学期制にかかわらず、活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため、各校の実態に応じて扱い時数などを調整しながら指導される学期や月を設定してください。

※新型コロナウイルスの感染防止に向けた緊急事態宣言による休校等の影響に対する資料については、弊社HPの「臨時休校に伴う4月以降の授業対応について【小学校】」の内容もあわせてご覧ください。

題材名	1. 歌声をひびかせて心をつなげよう	扱い時数のめやす 4時間
題材の目標	(1) 音色, 旋律や強弱などと曲想との関わりについて理解し, 自然で無理のない響きのある歌い方や, 伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 音色, 旋律, 強弱などと曲想との関わりを生かして, どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲の特徴を生かして歌う学習に主体的に取り組み, 友達と協働して音楽活動をする楽しさを味わう。	
題材の意図		
<p>5年生最初の題材では, クラス替えや友人関係を意識した歌詞をもつ歌唱教材と共通教材の「こいのぼり」が配置されています。友達と声を合わせて歌う活動を通して, 協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら, 1年間の学習のスタートを切るようにします。</p> <p>4年生までに学習してきたことを生かし, リズムや強弱, 旋律の音の上がり下がり, 曲の山などの音楽を形づくっている要素と曲想との関わりについて考え, 歌詞の内容と曲想にふさわしい表現を工夫しながら, 自然で無理のない, 響きのある歌い方で歌う学習を進めましょう。</p> <p>また, 伴奏をよく聴いて, 伴奏の響きやその変化が生み出す曲想を感じ取りながら歌う学習に取り組み, 各パートや全体の響きを聴き合いながら声を合わせて歌う学習に向けた準備をします。</p>		
学習指導要領との関連		
A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(ア)(イ)(ウ) [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色 , リズム , 旋律 , 強弱		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち, アは音楽を特徴付けている要素, イは音楽の仕組み, 核となるものについては, **太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
①曲想と歌詞の内容や音色, 旋律の反復や変化などとの関わりについて理解し, ハ長調の楽譜を見て, 呼吸や発音の仕方に気を付けながら, 各声部の歌声や全体の響き, 伴奏をよく聴いて, 声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 ②曲想と歌詞の内容や音色, リズム, 旋律の特徴, 強弱との関わりについて理解し, 呼吸や発音の仕方に気を付けて, 自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。	①曲想と歌詞の内容や音色, リズム, 旋律の反復や変化, 強弱との関わりについて考え, 曲の特徴にふさわしい表現を工夫し, どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	①曲の特徴にふさわしい表現を工夫して歌う学習に, 友達と協働して, 主体的に取り組もうとしている。 ②曲の特徴を生かして歌う学習に, 友達と協働して, 主体的に取り組もうとしている。

※「すてきな一歩」と「こいのぼり」の思・判・表①は, 同じ観点で見取っています。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
曲の感じを生かして，明るい声で歌いましょう。	○すてきな一歩	1 2	<p>●曲全体の感じをつかみ，声の出し方に気を付けて，主な旋律を歌う。</p> <p>●主な旋律と副次的な旋律を合わせて歌う。</p> <p>●伴奏を聴き，伴奏の響きや曲想の変化を感じ取って表現の工夫をする。</p> <p>●主な旋律と副次的な旋律が重なる面白さを感じ取りながら二部合唱する。</p>	<p>◆曲想と歌詞の内容や音色，旋律の反復や変化などとの関わりについて理解し，ハ長調の楽譜を見て，呼吸や発音の仕方に気を付けながら，各声部の歌声や全体の響き，伴奏をよく聴いて，声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>【知・技① 発言内容，演奏観察】</p> <p>◆曲想と歌詞の内容や音色，リズム，旋律の反復や変化，強弱との関わりについて考え，曲の特徴にふさわしい表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【思・判・表① 演奏聴取，発言内容】</p> <p>◆曲の特徴にふさわしい表現を工夫して歌う学習に，友達と協働して，主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【態① 発言内容，演奏観察】</p>
曲の特徴を生かして，明るい声で歌いましょう。	(共)こいのぼり	3 4	<p>●歌詞の内容を理解し，情景を想像しながら声の出し方に気を付けて歌う。</p> <p>●リズムや強弱などの曲の特徴について調べ，曲にふさわしい表現を工夫して歌う。</p>	<p>◆曲の特徴を生かして歌う学習に，友達と協働して，主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【態② 表情観察，演奏観察】</p> <p>◆曲想と歌詞の内容や音色，リズム，旋律の反復や変化，強弱との関わりについて考え，曲の特徴にふさわしい表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【思・判・表① 発言内容，演奏聴取】</p> <p>◆曲想と歌詞の内容や音色，リズム，旋律の特徴，強弱との関わりについて理解し，呼吸や発音の仕方に気を付けて，自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>【知・技② 演奏聴取】</p>

※「すてきな一歩」と「こいのぼり」の思・判・表①は，同じ観点で見取っています。

題材名	2. 音の重なりを感じ取ろう	扱い時数のめやす
		5時間
題材の目標	<p>(1) 旋律、音の重なり、音階や調などと曲想との関わりについて理解し、響きを感じ取りながら互いの音や声を合わせて表現する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 楽器の音や歌声が重なり合う響き、旋律の重なり方の違いと曲想との関わりについて考え、それらを生かして表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 楽器の音や歌声が重なり合う響きに興味・関心をもち、互いの音を聴き合いながら表現したり味わって聴いたりする学習に主体的に取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、歌声やリコーダーの音が重なり合うそれぞれの響きを味わい、それを生かして演奏の仕方を工夫したり、弦楽合奏の響きの美しさや演奏のよさなどを味わって聴いたりする学習を進めます。</p> <p>器楽の学習では、イ短調の楽譜を見て演奏する学習も取り上げます。長調の音階の響きとの違いを味わったり互いの音を聴いたりしながら音を合わせて演奏する力を養うようにします。</p> <p>歌唱や鑑賞の学習においては、旋律の重なり方の違いや変化が生み出す曲想に焦点を当て、互いの声部を聴き合いながら二部合唱したり、異なる音域の弦楽器の音が重なり合う響きを味わいながら聴いたりする力を養うようにします。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(イ)(ウ) (2)器楽ア、イ(ア)(イ)、ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>B鑑賞 ア、イ</p> <p>〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色、旋律、音の重なり、音階、調 イ 音楽の縦と横との関係 		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①曲想と音色や音階、調との関わりについて理解し、イ短調の響きを感じ取りながら、各声部の音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>②曲想と歌詞の内容や旋律の重なり、音楽の縦と横との関係などとの関わりについて理解し、各声部の歌声や全体の響きを聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③曲想やその変化と、弦楽器の音色や響き、旋律の重なり、音楽の縦と横との関係などとの関わりについて理解している。</p>	<p>①曲想と短調の響き、旋律の重なりなどとの関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい息の使い方やタンギングなどリコーダーの演奏の仕方を工夫して、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>②曲想と歌詞の内容や旋律の重なり、音楽の縦と横との関係との関わりについて考え、呼吸や発音の仕方、強弱など曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③弦楽器の音色、旋律の重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p>	<p>①曲想と短調の響き、旋律の重なりなどとの関わりについて興味・関心をもち、互いの音を聴きながら演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②旋律の重なり方の違いに興味・関心をもち、旋律の重なり合う響きを感じ取りながら歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
リコーダーの音が重なり合うひびきを感じ取りながら演奏しましょう。	◇小さな約束	1 2	●イ短調の響きを感じ取って、主な旋律を演奏する。 ●旋律の特徴に気付いて、副次的な旋律を演奏する。 ●短調の響きを感じ取りながら二部合奏をする。	◆曲想と短調の響き、旋律の重なりなどとの関わりについて興味・関心をもち、互いの音を聴きながら演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 【態① 演奏観察】 ◆曲想と短調の響き、旋律の重なりなどとの関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい息の使い方やタンギングなどリコーダーの演奏の仕方を工夫して、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表① 発言内容, 演奏聴取】 ◆曲想と音色や音階、調との関わりについて理解し、イ短調の響きを感じ取りながら、各声部の音を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技① 発言内容, 演奏観察, 演奏聴取】
歌声が重なり合うひびきを感じ取りながら合唱しましょう。	○いつでもあの海は	3 4	●曲全体の感じをつかみ、フレーズを感じながら主な旋律を歌う。 ●旋律の重なり方の違いを感じ取って副次的な旋律を歌う。 ●旋律の重なり方の違いを生かした歌い方を工夫して二部合唱する。 ●歌詞の内容や曲の特徴を生かして、互いの声を聴き合いながら二部合唱する。	◆旋律の重なり方の違いに興味・関心をもち、旋律の重なり合う響きを感じ取りながら歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 【態② 発言内容, 演奏観察】 ◆曲想と歌詞の内容や旋律の重なり、音楽の縦と横との関係との関わりについて考え、呼吸や発音の仕方、強弱など曲の特徴にふさわしい表現を工夫して、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 発言内容, 演奏聴取】 ◆曲想と歌詞の内容や旋律の重なり、音楽の縦と横との関係などとの関わりについて理解し、各声部の歌声や全体の響きを聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技② 演奏聴取】
いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながらききましょう。	♪アイネ クライネ ナハトムジーク 第1楽章 ♪プレリュード ※「プレリュード」の鑑賞は、授業の進度に応じて取り扱うようにする。	5	●弦楽器の音色や響きを感じ取って「アイネ クライネ ナハトムジーク 第1楽章」を聴く。 ●旋律の重なり方に気を付けて聴く。 ●「プレリュード」を聴き、弦楽合奏の響きのよさを、さらに味わう。	◆曲想やその変化と、弦楽器の音色や響き、旋律の重なり、音楽の縦と横との関係などとの関わりについて理解している。 【知③ 発言内容, 行動観察】 ◆弦楽器の音色や響き、旋律の重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表③ 発言内容, ワークシート】

題材名	3. いろいろな音色を感じ取ろう	扱い時数のめやす
		8時間
題材の目標	<p>(1) 音色, リズム, 旋律や音の重なりなどと曲想との関わりについて理解し, 各声部の楽器の音色や楽器の音の重なり合う響きに気を付けて音を合わせて演奏する技能や, 打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして音楽をつくる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 楽器の音の組み合わせ方や重ね方を工夫した演奏の仕方や, 反復, 呼びかけとこたえ, 変化などを用いて, どのようにまとまりのある音楽をつくるかについて思いや意図をもったり, 曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 友達と協働して音を合わせて表現したり, 様々な楽器の響きに気を付けてオーケストラの音楽を聴いたりする学習の楽しさを味わって主体的に取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>題材2「音の重なりを感じ取ろう」の学習経験を踏まえながら, ここでは, いろいろな音の響きやそれらが組み合わさったことによる楽器の音が重なり合う響きのよさや面白さについて感じ取ったり, それを生かして表現を工夫したりする活動を進めていきます。</p> <p>活動の内容としては, 木, 金属, 皮など, 材質の異なる楽器の音が重なり合う響きの面白さや豊かさを感じ取れるようにし, それらの組合せを工夫することによる響きの変化を楽しみながら演奏したり, 音楽の仕組みを生かしてリズムアンサンブルをつくったりすることができるようにします。また, 2年生の鑑賞曲「だがつきパーティー」, 3年生の金管楽器の比較鑑賞, 4年生の木管楽器の比較鑑賞, 題材2の弦楽合奏の鑑賞をまとめるかたちで, 音色の異なる様々な楽器が一体となって豊かな響きを生み出すオーケストラの曲を鑑賞する学習も取り上げます。曲や演奏についてよかった点を伝え合う活動を取り入れるなどして, 曲全体を味わって聴く喜びを感じ取れるようにします。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (2)器楽ア, イ(7)(4), ウ(7)(4)(ウ)</p> <p>(3)音楽づくりア(7)(4), イ(7)(4), ウ(7)(4)</p> <p>B鑑賞 ア, イ</p> <p>〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 <ul style="list-style-type: none"> ア 音色, リズム, 旋律, 音の重なり イ 反復, 呼びかけとこたえ, 変化 ・音符, 休符, 記号や用語 <ul style="list-style-type: none"> アクセント, へ音記号 		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち, アは音楽を特徴付けている要素, イは音楽の仕組み, 核となるものについては, **太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①曲想と音色やリズム, 旋律の特徴, 音の重なりなどとの関わりについて理解し, ト音譜表やヘ音譜表の楽譜を見て演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>②楽器の音色や各声部の重なりによる響きと演奏の仕方との関わりについて理解し, 各声部の音や全体の響きを聴いて, 音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>③曲想やその変化と, 楽器の音色や響き, 旋律との関わりについて理解している。</p> <p>④打楽器の音の響きやそれらの組合せが生み出すよさや面白さを理解し, 即興的に音色やリズムを選んだり組み合わせたりして表現する技能を身に付けてつくっている。</p> <p>⑤リズムのつなげ方や重ね方の特徴について, それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解し, 反復, 呼びかけとこたえ, 変化などを用いて, 音楽をつくる技能を身に付けてリズムアンサンブルをつくっている。</p>	<p>①楽器の音色, 各声部の重なりや響きなどを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, パートの重ね方や楽器の演奏の仕方を工夫し, どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>②オーケストラの様々な楽器の音色, 旋律, 反復, 変化などを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さ, 美しさを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, 曲や演奏のよさなどを見いだし, 曲全体を味わって聴いている。</p> <p>③いろいろな楽器の材質や音の響き, それらの組合せに気を付けながら, 即興的に表現することを通して, 音楽づくりの発想を得ている。</p> <p>④打楽器の音色やリズム, 音の重なり, 反復, 呼びかけとこたえ, 変化を聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 音を音楽へと構成することを通して, どのように全体のまとまりを意識したリズムアンサンブルをつくるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>①楽器の音色やいろいろな音が重なり合う響きに興味・関心を持ち, パートの重ね方を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②楽器の音色や響きの変化, 旋律の交代に気を付けてオーケストラの演奏を聴く学習に, 主体的に取り組もうとしている。</p> <p>③打楽器の音色の組合せやリズムの重ね方に興味・関心を持ち, 反復や呼びかけとこたえ, 変化を生かしてリズムアンサンブルをつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
<p>いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを楽しみながら演奏しましょう。</p>	<p>◇リボンのおどり(ラ バンバ)</p>	<p>1 2 3</p>	<p>●各パートの旋律の特徴をつかんで演奏する。</p> <p>●重なり合う響きの変化の面白さを生かして、表現の工夫をする。</p> <p>●グループで工夫した「リボンのおどり」を発表し合う。</p>	<p>◆曲想と音色やリズム、旋律の特徴、音の重なりなどとの関わりについて理解し、ト音譜表やヘ音譜表の楽譜を見て演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技① 演奏聴取】</p> <p>◆楽器の音色、各声部の重なりや響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、パートの重ね方や楽器の演奏の仕方を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表① ワークシート, 発言内容】</p> <p>◆楽器の音色やいろいろな音が重なり合う響きに興味・関心をもち、パートの重ね方を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。 【態① 発言内容, 演奏聴取】</p> <p>◆楽器の音色や各声部の重なりによる響きと演奏の仕方との関わりについて理解し、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技② 発言内容, 演奏聴取】</p>
<p>オーケストラのひびきに親しみましょう。</p>	<p>♪祝典序曲 ♪アフリカン シンフォニー ※「アフリカンシンフォニー」の鑑賞は、授業の進度に応じて取り扱うようにする。</p>	<p>4 5</p>	<p>●主な旋律を演奏する楽器の音色や響きを感じ取って「祝典序曲」を聴く。</p> <p>●楽器による響きの変化を味わいながら曲全体を聴き、紹介文を書く。</p> <p>●「アフリカン シンフォニー」を聴き、楽器による音色の響きを聴き比べる。</p>	<p>◆楽器の音色や響きの変化、旋律の交代に気を付けてオーケストラの演奏を聴く学習に、主体的に取り組もうとしている。 【態② 行動観察, 発言内容】</p> <p>◆曲想やその変化と、楽器の音色や響き、旋律との関わりについて理解している。 【知③ 行動観察, ワークシート】</p> <p>◆オーケストラの様々な楽器の音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表② ワークシート, 発言内容】</p>
<p>打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして、リズムアンサンブルをつくきましょう。</p>	<p>☆打楽器でリズムアンサンブル</p>	<p>6 7 8</p>	<p>●いろいろな楽器の響きや音色の組合せを楽しむ。</p> <p>●反復、呼びかけとこたえ、変化、音楽の縦と横との関係について知り、音楽の仕組みを生かしてリズムアンサンブルをつくる。</p> <p>●自分たちのリズムアンサンブルを完成させ、発表し合う。</p>	<p>◆いろいろな楽器の材質や音の響き、それらの組合せに気を付けながら、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。 【思・判・表③ 発言内容, 行動観察】</p> <p>◆打楽器の音の響きやそれらの組合せが生み出すよさや面白さを理解し、即興的に音色やリズムを選んだり組み合わせたりして表現する技能を身に付けてつくっている。 【知・技④ 行動観察, 演奏観察, 発言内容】</p> <p>◆打楽器の音色やリズム、音の重なり、反復、呼びかけとこたえ、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識したリズムアンサンブルをつくるかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表④ ワークシート, 演奏聴取】</p> <p>◆打楽器の音色の組合せやリズムの重ね方に興味・関心をもち、反復や呼びかけとこたえ、変化を生かしてリズムアンサンブルをつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 【態③ 行動観察, 発言内容】</p> <p>◆リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解し、反復、呼びかけとこたえ、変化などを用いて、音楽をつくる技能を身に付けてリズムアンサンブルをつくっている。 【知・技⑤ 発言内容, 演奏聴取】</p>

題材名	4. 和音の移り変わりを感じ取ろう	扱い時数のめやす 4時間
題材の目標	<p>(1) 旋律, I, IV, V及びV₇の和音の響き, 調や音の重なりなどと曲想との関わりについて理解し, 和音の移り変わりに気を付けたり, 互いの声や音を聴き合ったりして表現する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 和音の響きやその移り変わり, 呼びかけとこたえについて聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えながら, どのように表現するかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 友達と協働して, 和音の響きやその移り変わりを感じ取って表現する学習を通して, 和音の響きへの興味・関心を深める。</p>	
題材の意図	<p>これまでも様々な活動を通して, 旋律やいろいろな楽器の音が重なり合う響きの美しさなどを感じ取ってきましたが, 本題材では, I, IV, V及びV₇の和音を中心に, 長調の和音と, その移り変わりを学習します。</p> <p>学習を進めるに当たっては, I, IV, Vなどの和音による伴奏の響きに合わせて体を動かしたり, 部分的に3つのパートに分かれる曲を合唱したりして, それぞれの和音の響きの違いやそれらが移り変わることによって生まれる表情の変化を感じ取ることができるようにしましょう。</p> <p>そのうえで, 和音の響きの移り変わりから曲想を感じ取って歌い方を工夫したり, 斉唱部分と合唱部分を交互に歌う中で, 歌声が重なって生み出される3部合唱の響きを聴きながら声を合わせて歌ったりすることができるようにします。また, 前の題材から学習を始めたへ音譜表の視奏に慣れ親しむ活動も進めていくようにします。</p>	
学習指導要領との関連	<p>A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(ア)(イ)(ウ) (2)器楽ア, イ(ア), ウ(ア)(ウ)</p> <p>B鑑賞 ア, イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 <ul style="list-style-type: none"> ア 音色, 旋律, 音の重なり, 和音の響き, 調 イ 呼びかけとこたえ 	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち, アは音楽を特徴付けている要素, イは音楽の仕組み, 核となるものについては, **太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①曲想と旋律, 和音の響き, 調との関わりについて理解している。</p> <p>②和音の響きやその移りわりを感じ取りながら, 旋律や伴奏の音を聴いて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。</p> <p>③思いや意図に合った表現をするために必要な, 各声部の歌声や全体の響きを聴いて, 声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>①曲想と音色や音の重なり, 和音の響きの違い, 呼びかけとこたえとの関わりについて考え, 声を合わせて曲の特徴にふさわしい表現を工夫し, どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>①ハ長調の和音の響きやその移り変わりに興味・関心をもち, それらの美しさを感じ取りながら歌ったり演奏したりする学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②和音の響きやその移り変わりに興味・関心をもち, 友達と協働して和音の響きの美しさを感じ取りながら合唱する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

※「静かにねむれ」と「こげよ マイケル」の知①は, 同じ観点で見取っています。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
和音の移り変わりを感じ取りながら演奏しましょう。	◇○静かにねむれ	1 2	●伴奏の響きを感じながら、曲全体の感じをつかんで主な旋律を歌う。 ●ハ長調の主要な和音の響きを感じ取りながら、和音と低音のパートを演奏する。 ●和音と低音の響きの移り変わりを感じながら、歌ったり演奏したりする。	◆ハ長調の和音の響きやその移り変わりに興味・関心をもち、それらの美しさを感じ取りながら歌ったり演奏したりする学習に主体的に取り組もうとしている。 【態① 行動観察, 演奏聴取】 ◆曲想と旋律, 和音の響き, 調との関わりについて理解している。 【知① 演奏聴取, 発言内容】 ◆和音の響きやその移り変わりを感じ取りながら, 旋律や伴奏の音を聴いて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 【技② 演奏聴取】
和音の移り変わりを感じ取りながら合唱しましょう。	○こげよ マイケル (Michael, row the boat ashore) ♪こげよ マイケル ※「こげよ マイケル」の鑑賞は、授業の進度に応じて取り扱うようにする。	3 4	●曲の特徴を感じ取って、主な旋律を歌う。 ●「こげよ マイケル」を聴く。 ●互いの声の響き合いや伴奏の響きを意識し、声の出し方を工夫しながら合唱する。 ●和音の響きやその移り変わりを感じながら合唱する。	◆曲想と旋律, 和音の響き, 調との関わりについて理解している。 【知① 演奏聴取, 発言内容】 ◆曲想と音色や音の重なり, 和音の響きの違い, 呼びかけとこたえとの関わりについて考え, 声を合わせて曲の特徴にふさわしい表現を工夫し, どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表① 発言内容, 演奏聴取】 ◆和音の響きやその移り変わりに興味・関心をもち, 友達と協働して和音の響きの美しさを感じ取りながら合唱する学習に主体的に取り組もうとしている。 【態② 発言内容, 演奏聴取】 ◆思いや意図に合った表現をするために必要な, 各声部の歌声や全体の響きを聴いて, 声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【技③ 演奏聴取】

※「静かにねむれ」と「こげよマイケル」の知①は、同じ観点で見取っています。

題材名	5. 曲想の変化を感じ取ろう	扱い時数のめやす 5 時間
題材の目標	<p>(1) 曲想と音色, リズム, 旋律, 強弱や歌詞の内容などとの関わりについて理解し, 呼吸や発音の仕方に気を付けて, 自然で無理のない, 響きのある歌い方や, 声や楽器の重なり合う響きに気を付けながら, 声や楽器の音を合わせて表現する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 曲想とリズム, 旋律や音の重なりなどとの関わりを生かして, 歌い方や演奏の仕方を工夫し, どのように表現するかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 曲想の変化を感じ取り, 友達と協働して歌ったり合奏したりする学習に主体的に取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>これまで様々な音楽活動を通して, 旋律の音の上がり下がりやリズム, 速度や強弱などの音楽を形づくっている要素が生み出す音楽の特徴に気付いたり, それらの要素が反復したり変化したりすることによって音楽の表情がより豊かになることを味わったりする学習を積み重ねてきました。</p> <p>本題材では, こうした音楽を形づくっている要素が一体となって醸し出す曲想やその変化を感じ取って表現を工夫する学習を展開します。</p> <p>ハ長調の合唱教材やイ短調の器楽合奏教材が取り上げられているため, 調や拍子, 強弱記号などを含めて楽譜を見て気付いたこと, 実際に演奏して気付いたり感じ取ったりしたことを伝え合うなどして, 自らが感じ取った曲想と音楽を形づくっている要素との関わりを理解する学習を深めていくことができます。そうして対話的な学びを通して得た知識を基に, 思いや意図をもって表現の仕方を工夫することを中心に学習を進めていきます。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(ア)(イ)(ウ) (2)器楽ア, イ(ア)(イ), ウ(ア)(イ)(ウ) 〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 <ul style="list-style-type: none"> ア 音色, リズム, 旋律, 強弱, 音の重なり イ 呼びかけとこたえ ・音符, 休符, 記号や用語 ナチュラル, くり返し記号(1・2番かっこ) 		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち, アは音楽を特徴付けている要素, イは音楽の仕組み, 核となるものについては, **太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①曲想と歌詞の内容や旋律, リズム, 強弱などとの関わりについて理解している。</p> <p>②呼吸や発音の仕方に気を付けて, 各声部の歌声を聴きながら自然で無理のない, 響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③範奏を聴いたり, 楽譜を見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④曲想と楽器の音色, リズム, 旋律, 音の重なり, 拍, 呼びかけとこたえなどとの関わりについて理解し, 曲想の変化を味わいながら各声部の楽器の音や全体の響きを聴いて, 音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p>	<p>①曲想と歌詞の内容や音色, リズム, 旋律, 強弱, 音の重なりなどとの関わりが生み出すよさや美しさを生かして, 曲の特徴にふさわしい歌い方を工夫し, どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>②楽器の音色, リズム, 旋律, 音の重なり, 呼びかけとこたえなどを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら, 曲想の変化にふさわしい表現を工夫し, どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>①曲想と歌詞の内容や旋律, リズム, 強弱などとの関わりについて興味・関心をもち, 曲想の変化を感じ取って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②曲の構成や曲想の変化に興味・関心をもち, 曲の特徴にふさわしい表現を工夫して演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
曲想の変化を感じ取って、 明るい声で歌いましょう。	○夢の世界を	1 2	●歌詞の内容やアとイの曲想の違いを感じ取って歌う。 ●音色、リズム、音程や発音に気を付けて二部合唱する。 ●アとイの曲想の変化を表現できるよう、歌詞の内容と音色、リズム、 旋律、強弱などの関わりを生かして、表現を工夫して歌う。	◆曲想と歌詞の内容や旋律、リズム、強弱などとの関わりについて理解している。 【知① 発言内容、ワークシート】 ◆曲想と歌詞の内容や旋律、リズム、強弱などとの関わりについて興味・関心をも ち、曲想の変化を感じ取って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 【態① ワークシート、発言内容、行動観察】 ◆呼吸や発音の仕方に気を付けて、各声部の歌声を聴きながら自然で無理のない、 響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【技② 演奏聴取】 ◆曲想と歌詞の内容や音色、リズム、旋律、強弱、音の重なりなどとの関わりが生 み出すよさや美しさを生かして、曲の特徴にふさわしい歌い方を工夫し、どのよ うに歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表① 発言内容、行動観察】
曲想を生かして合奏しまし ょう。	◇キリマンジャロ	3 4 5	●曲想を感じ取って曲全体を聴く。 ●旋律の特徴を生かして主な旋律を演奏する。 ●曲想の変化を感じ取って表現の仕方を工夫する。 ●曲想を生かして合奏する。	◆曲の構成や曲想の変化に興味・関心を持ち、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し て演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 【態② 行動観察、発言内容】 ◆範奏を聴いたり、楽譜を見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。 【技③ 演奏観察】 ◆楽器の音色、リズム、旋律、音の重なり、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そ れらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想の変化にふさわしい 表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 行動観察、演奏観察】 ◆曲想と楽器の音色、リズム、旋律、音の重なり、拍、呼びかけとこたえなどの 関わりについて理解し、曲想の変化を味わいながら各声部の楽器の音や全体の響 きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知・技④ 演奏聴取】

題材名	6. 詩と音楽の関わりを味わおう	扱い時数のめやす
		6 時間
題材の目標	<p>(1) 音色, リズム, 旋律, フレーズや歌詞の内容などと曲想との関わりについて理解し, 言葉や歌詞, 旋律のまとまりに気を付けて歌う技能を身に付ける。</p> <p>(2) 言葉の感じと旋律, 歌詞の内容と曲想との関わりについて考え, 曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたり, 歌詞の表す情景を思い浮かべながら言葉や歌詞, 旋律のまとまりを生かした歌い方を工夫し, どのように表現するかについて思いや意図をもったりする。</p> <p>(3) 友達と協働して, 詩と音楽の結びつきについて考える学習を通して, 日本の歌曲など, 様々な音楽への興味・関心を深める。</p>	
題材の意図		
<p>我が国には優れた歌曲の作品が多くあり, それらは日本語の美しい歌詞と, 言葉のもつ語感を大切にしてつくられた旋律とが一体となって, 歌う人や聴く人の心をとらえます。</p> <p>この題材では, 「待ちぼうけ」を中心に山田耕筰の作品を取り上げ, 歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想や演奏表現の工夫のよさを感じ取りながら, 鑑賞の学習を進めます。</p> <p>学習を進めるに当たっては, 作詞者, 作曲者, 演奏者の視点に立って, それぞれの工夫についての考えをもち, 友達と意見交流をしながら, 曲の特徴や演奏のよさを理解することにつなげていき, 曲全体を聴き深めることができるようにします。</p> <p>また, 季節にちなんだ共通教材2曲を配置していますので, 前題材までに身に付けてきた学びや, 「待ちぼうけ」の鑑賞で得たことを生かして, 豊かな表現で歌うようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱ア, イ, ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>B鑑賞 ア, イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色, リズム, 速度, 旋律, 強弱, フレーズ 		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち, アは音楽を特徴付けている要素, イは音楽の仕組み, 核となるものについては, **太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①曲想と歌詞の内容や音色, リズム, 旋律のまとまりなどとの関わりについて理解している。</p> <p>②曲想と歌詞の内容や旋律の動き, フレーズ, 強弱の変化などとの関わりについて理解し, 呼吸や発音の仕方に気を付けながら, 響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>①言葉と旋律が一体となって生み出す曲想や, その曲想と声の種類や演奏形態による音色や響きの違いなどとの関わりについて考え, 歌詞の表す情景や心情との関わりを生かした表現のよさなどを見いだし, 曲全体を味わって聴いている。</p> <p>②旋律の特徴やリズム, フレーズ, 歌詞の内容と曲想との関わりが生み出すよさや面白さ, 美しさを生かして, 発音や強弱など, 曲の特徴にふさわしい表現を工夫し, どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>①言葉の抑揚やリズムと旋律との結び付きに興味・関心をもち, 詩と音楽が一体となった日本語の歌曲のよさや特徴を味わって聴く学習に, 友達と協働して主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫する学習に, 友達と協働して主体的に取り組もうとしている。</p>

※「冬げしき」と「スキーの歌」の態②は, 同じ観点で見取っています。

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
詩と音楽との結び付きに気を付けて、日本語の歌曲を味わいましょう。	♪待ちぼうけ ♪赤とんぼ／この道	1 2	●言葉のリズムや抑揚、語感を感じ取りながら、詩の内容を捉える。 ●言葉と音楽の結び付きや、曲の特徴に気を付けて聴く。 ●曲想や表現の工夫を味わって聴く。 ●声の種類や演奏形態の違いが生み出す演奏のよさを味わって聴く。	◆言葉の抑揚やリズムと旋律との結び付きに興味・関心をもち、詩と音楽が一体となった日本語の歌曲のよさや特徴を味わって聴く学習に、友達と協働して主体的に取り組もうとしている。 【態① 発言内容】 ◆曲想と歌詞の内容や音色、リズム、旋律のまとまりなどとの関わりについて理解している。 【知① ワークシート、表情観察】 ◆言葉と旋律が一体となって生み出す曲想や、その曲想と声の種類や演奏形態による音色や響きの違いなどとの関わりについて考え、歌詞の表す情景や心情との関わりを生かした表現のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表① 表情観察、発言内容】
歌詞の表す情景を思いうかべながら歌いましょう。	(共)冬げしき	3 4	●時間や場面が変わっていく情景を想像しながら歌詞唱する。 ●歌詞の内容を味わい、旋律の特徴に気を付けて主な旋律を歌う。	◆歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫する学習に、友達と協働して主体的に取り組もうとしている。 【態② 演奏聴取】 ◆曲想と歌詞の内容や旋律の動き、フレーズ、強弱の変化などとの関わりについて理解し、呼吸や発音の仕方に気を付けながら、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技② 演奏聴取】
曲想を生かして歌いましょう。	(共)スキーの歌	5 6	●歌詞を読んだり範唱を聴いたりして、情景を想像しながら主な旋律を歌う。 ●旋律やリズムの特徴、フレーズを生かして、主な旋律の歌い方を工夫する。	◆歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫する学習に、友達と協働して主体的に取り組もうとしている。 【態② 演奏聴取、表情観察】 ◆旋律の特徴やリズム、フレーズ、歌詞の内容と曲想との関わりが生み出すよさや面白さ、美しさを生かして、発音や強弱など、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 発言内容、演奏聴取】

※「冬げしき」と「スキーの歌」の態②は、同じ観点で見取っています。

題材名	7. 日本の音楽に親しもう	扱い時数のめやす
		6時間
題材の目標	<p>(1) 音色や旋律、音階、拍などと曲想との関わりについて理解し、日本の旋律の特徴に合った歌い方で歌ったり、日本の音階を用いてまとまりのある音楽をつくったりする技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色や旋律、音階、拍などと曲想との関わりについて考え、それらが生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたり、それらを生かした歌い方や、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて、思いや意図をもったりする。</p> <p>(3) 日本の音楽の特徴を味わって、それを生かした表現をしたり、日本の音楽のよさなどを味わいながら聴いたりする学習を通して、日本の様々な音楽への興味・関心を深める。</p>	
題材の意図	<p>日本には、3, 4年生で学習してきたような郷土に伝わるお囃子や民謡をはじめ、人々によって昔から守り伝えられてきた様々な音楽があります。本題材では、箏と尺八による音楽や郷土に伝わる民謡などを鑑賞する学習を行い、それらの経験を生かして、我が国の音楽で広く使われている五音音階の音で旋律をつくる学習などを通して、我が国や郷土の音楽に親しみながら、長く受け継がれてきた伝統や文化への理解も深めていくようにします。</p> <p>声の出し方や歌い回し、拍のある音楽や拍のない音楽といった観点から民謡を比較鑑賞する過程で、生活と結び付いて歌い継がれてきた音楽があることに気付いたり、感じ取ったことや気付いたことを発表し合ったりする活動を通して、我が国や郷土に伝わる音楽のよさや特徴をあらためて見直す機会にしましょう。</p>	
学習指導要領との関連	<p>A表現 (1)歌唱ア、イ、ウ(ア)(イ) (3) 音楽づくりア(ア)(イ)、イ(イ)、ウ(ア)(イ)</p> <p>B鑑賞 ア、イ</p> <p>〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 <ul style="list-style-type: none"> ア 音色、旋律、音の重なり、音階、拍 イ 反復、呼びかけとこたえ 	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①曲想やその変化と、箏と尺八の音色や旋律、呼びかけとこたえなどとの関わりについて理解している。</p> <p>②曲想と歌詞の内容や音色、旋律などとの関わりについて理解し、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③曲想と旋律や拍との関わりについて理解している。</p> <p>④旋律のつなげ方や重ね方の特徴のよさや面白さを理解し、反復を用いて、音楽をつくる技能を身に付けて8小節のまとまりのある旋律をつくっている。</p>	<p>①箏と尺八の音色や旋律、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>②二つの旋律の違いを聴き取り、それぞれの表情や雰囲気を感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③日本の音階や旋律の特徴が生み出すよさや面白さを生かして、旋律の音の上がり下がりやつなげ方を工夫し、どのように全体のまとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>①我が国や郷土の音楽に興味・関心をもち、日本の楽器の音色を味わって聴いたり、生活と結び付いて歌い継がれてきた歌や音楽を歌ったり聴いたりする学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②我が国の音楽に使われている音階の音を使い、旋律の特徴が生み出すよさや面白さを生かして、まとまりのある旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
日本の楽器のひびきと旋律の美しさを味わいながらききましょう。	♪春の海	1	<ul style="list-style-type: none"> ●箏と尺八の音色に親しみ、曲全体の構成をつかんで聴く。 ●箏と尺八の音色や旋律の関わり合いに気を付けて聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆曲想やその変化と、箏と尺八の音色や旋律、呼びかけとこたえなどとの関わりについて理解している。 【知① 発言内容】 ◆箏と尺八の音色や旋律、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表① 発言内容、ワークシート】
日本の旋律の美しさを味わいながら歌いましょう。	(共)子もり歌	2	<ul style="list-style-type: none"> ●曲想を感じ取って、律音階による「旋律1」を歌う。 ●二つの旋律を、それぞれの感じの違いを味わって歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆曲想と歌詞の内容や音色、旋律などとの関わりについて理解し、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技② 演奏聴取、発言内容】 ◆二つの旋律の違いを聴き取り、それぞれの表情や雰囲気を感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 発言内容、演奏聴取】
音楽の特徴を感じ取りながら、日本の民謡をききましょう。	♪ソーラン節／かりぼし切り歌	3 4	<ul style="list-style-type: none"> ●郷土の音楽の背景を知り、曲想を感じ取って聴く。 ●曲を聴いて気付いたことや感じ取ったことを言葉で表す。 ●日本のいろいろな民謡を聴き比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆曲想と旋律や拍との関わりについて理解している。 【知③ 発言内容、ワークシート】 ◆我が国や郷土の音楽に興味・関心をもち、日本の楽器の音色を味わって聴いたり、生活と結び付いて歌い継がれてきた歌や音楽を歌ったり聴いたりする学習に主体的に取り組もうとしている。 【態① 表情観察、発言内容】
日本の音階を使って旋律をつくりましょう。	☆音階の音で旋律づくり	5 6	<ul style="list-style-type: none"> ●旋律の上がり下がりリズムを工夫して、2小節の旋律をつくる。 ●組合せを工夫しながら、友達がつくった旋律とつなげて、まとまりのある旋律をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆日本の音階や旋律の特徴が生み出すよさや面白さを生かして、旋律の音の上がり下がりやつなげ方を工夫し、どのように全体のまとまりを意識した旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表③ ワークシート、演奏聴取】 ◆旋律のつなげ方や重ね方の特徴のよさや面白さを理解し、反復を用いて、音楽をつくる技能を身に付けて8小節のまとまりのある旋律をつくっている。 【知・技④ ワークシート】 ◆我が国の音楽に使われている音階の音を使い、旋律の特徴が生み出すよさや面白さを生かして、まとまりのある旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。 【態② 発言内容、ワークシート】

題材名	8. 思いを表現に生かそう	扱い時数のめやす
		6時間
題材の目標	<p>(1) 音色，強弱，音の重なりや歌詞の内容などと曲想との関わりについて理解し，音楽の盛り上がりや歌詞の表す気持ちを表情豊かに伝えるために必要な表現の技能を身に付ける。</p> <p>(2) 楽器の音の重なり合う響き，曲の山，旋律や歌詞の内容などと曲想との関わりについて考え，それらに合った表現の仕方を工夫し，どのように表現するかについて思いや意図をもったり，曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3) 今までに習ったことを生かして，友達と一緒に思いが伝わるように音や声を合わせて表現したり，味わって聴いたりする学習の楽しさを味わいながら主体的に取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>5年生では，表現と鑑賞の様々な活動を通して，音楽的な感性や表現・鑑賞の能力を高める学習を段階的に進めてきました。5年生最後の本題材では，これまでのまとめとして，曲や歌詞の表すイメージをしっかりとつかみ，これまでのに学習してきたことを生かして充実した鑑賞や表現に結び付けていくことが求められます。</p> <p>学校行事としての卒業式を意識するこの時期に，6年生を送り出す側の5年生という立場ならではの思いを生かして表現を工夫するために，歌詞を音読したり楽譜を見たりしながら，クラス全員で表現の工夫などについて話し合っ，ともに音楽をつくり上げていく喜びを味わい，表現の質を高めていくようにしましょう。</p> <p>みんなで声や気持ちを合わせ，心を込めて演奏する音楽活動は，生活の中に音楽を生かそうとする態度や，学校内外の様々な音楽や音楽活動に主体的に関わっていく態度の育成につながるものです。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1) 歌唱ア，イ，ウ(ア)(イ)(ウ) (2) 器楽ア，イ(ア)(イ)，ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>B鑑賞 ア，イ</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色，速度，旋律，強弱，音の重なり ・音符，休符，記号や用語 スラー 		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち，アは音楽を特徴付けている要素，イは音楽の仕組み，核となるものについては，**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思・判・表）	主体的に学習に取り組む態度（態）
<p>① 範奏を聴いたり，ハ長調の楽譜を見たりして，音色や響きに気を付けて旋律楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>② 曲想やその変化と，音色，速度，音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>③ 曲想と歌詞の内容や旋律，強弱などとの関わりについて理解し，呼吸や発音の仕方に気を付けて，自然で無理のない，響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>① 曲想と音色や速度，音の重なりなどを聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さ，美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲や演奏のよさなどを見いだし，曲全体を味わって聴いたり，音楽の盛り上がりや伝わるように表現を工夫し，どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>② 曲想と歌詞の内容や旋律，強弱，音の重なり，フレーズなどとの関わりについて考え，曲の特徴にふさわしい表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>① 曲想の変化や和音の響きの美しさを味わいながら，音楽の盛り上がりや伝わるように，曲想にふさわしい表現を工夫しながら合奏する学習に主体的に取り組んでいる。</p> <p>② 曲想やその変化と，歌詞の内容や旋律，強弱などとの関わりを生かしながら，思いを込めて歌う学習に主体的に取り組んでいる。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 目 安 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
<p>きいている人に、音楽のもり上がりが伝わるように演奏しましょう。</p>	<p>◇威風堂々 ♪威風堂々 第1番</p>	<p>1 2 3</p>	<p>●イの部分の主な旋律を演奏し、旋律に親しむ。</p> <p>●曲想の変化に気を付けてオーケストラの演奏を聴き、曲の構造に気付く。</p> <p>●曲想の変化を味わって聴いたり、和音の響きの美しさを感じ取って演奏したりする。</p>	<p>◆範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして、音色や響きに気を付けて旋律楽器を演奏する技能を身に付けて演奏している。 【技① 演奏聴取】</p> <p>◆曲想やその変化と、音色、速度、音の重なりなど音楽の構造との関わりについて理解している。 【知② 行動観察、発言内容、ワークシート】</p> <p>◆曲想と音色や速度、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いたり、音楽の盛り上がりや伝わるように表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったりしている。 【思・判・表① 行動観察、ワークシート】</p> <p>◆曲想の変化や和音の響きの美しさを感じながら、音楽の盛り上がりや伝わるように、曲想にふさわしい表現を工夫しながら合奏する学習に主体的に取り組んでいる。 【態① 表情観察、演奏聴取】</p>
<p>歌詞の表す気持ちを大切に して歌いましょう。</p>	<p>○大空がむかえる朝 ○ほたるの光</p>	<p>4 5 (5) 6</p>	<p>●曲全体の感じをつかんで、主な旋律を歌う。</p> <p>●曲想を生かして歌い方を工夫し、声の重なり合う響きを感じながら心を込めて合唱する。</p> <p>●曲全体の感じをつかんで歌う。</p> <p>●歌詞の内容を理解し、思いを込めて歌う。</p>	<p>◆曲想と歌詞の内容や旋律、強弱などとの関わりについて理解し、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技③ 表情観察、演奏聴取】</p> <p>◆曲想と歌詞の内容や旋律、強弱、音の重なり、フレーズなどとの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 発言内容、楽譜への書き込み】</p> <p>◆曲想やその変化と、歌詞の内容や旋律、強弱などとの関わりを生かしながら、思いを込めて歌う学習に主体的に取り組んでいる。 【態② 表情観察、演奏観察】</p>

※学校や地域、児童の実態に応じて、「大空がむかえる朝」と「ほたるの光」のどちらか1曲を3時間で扱うことも考えられます。